

## 学習成果の自己評価について（キャリア開発総合学科）

学習成果の自己評価については、これまでと同様に、学生が自分の成長を把握しやすくするため、系ごとに各学年を代表する科目に絞った。調査の間隔は、半年間では学生自身で自覚しにくいことを勘案し、1年間毎とした。

以下の表は、平成30年(2018)度入学生の1年次終了時点の調査(2019年1月実施)と2年次終了時点(2020年1月実施)の結果である。空欄は、当該学年における科目が存在しないため調査対象ではないことを示す。

全学生が回答する「ヒューマンスキル」については(1)「計画、実行、点検を意識しての物事へのとりくみ」、(2)「社会人としての基礎的マナー(挨拶、時間管理など)」、(3)「パソコンを使った標準的な文章作成」、(4)「資格取得、検定合格へのとりくみ」の項目を取り上げた。(1)と(2)は、それぞれについてレベル1(L1)「まったく身につけていない」、レベル2(L2)「いくらかは意識して取り組んでいる」、レベル3(L3)「5割ほどが達成できている」、レベル4(L4)「8割ほどが達成できている」、レベル5(L5)「ほぼ全てが達成できている」の5段階評価とした。

各系からはいくつかの科目・領域をピックアップし、それぞれについてレベル1(L1)「必要な知識・技能が身につけていない」、レベル2(L2)「3割ほどが達成できている」、レベル3(L3)「5割ほどが達成できている」、レベル4(L4)「8割ほどが達成できている」、レベル5(L5)「ほぼ全てが達成できている」の5段階評価とした。

外観すると、全ての領域において1年次よりも2年次が平均は高い。学年が上であることと、自己評価の数値の高低に相関があることがうかがえる。全学生を対象とした「ヒューマンスキル」については、(4)「資格取得、検定合格へのとりくみ」の平均が1年次に2.9と際立って低い。2年次には3.1と微増しているものの、1年次に19人のレベル1が、2年時には21人と微増している。2年次に資格取得・検定合格への動機が薄れてしまう層が存在することは明らかである。2年次の関心は就職活動に向いており、それを達成しつつ、金銭的な負担も生じる資格等にチャレンジし続けていくことは躊躇されやすい。生涯学習は、必ずしも資格などと連動するものではないけれども、継続的な学びを促すための心理的支援を含めた、きめ細かい対応が課題となろう。

1年次の時点でレベル1がないのが(2)「社会人としての基礎的マナー(挨拶、時間管理など)」であり、2年次の時点での平均点も3.7と最も高く、授業内外を通しての日常的に充実したマナー環境が影響を与えているのではないかと推察できる。これは、前年度と比較しても同様の結果であり、学内での取り組みが常時高い水準で機能していることを反映していると思われる。

系の比較で際立った特徴をもっているのは、介護福祉系である。4項目全て1年次には2点台であり、2年次には3点台となっている。中でも「医療的ケア」は1年次、2.2であったものが、2年次には、3.8と1.6の上昇である。これは、すべての領域の中で、最大の上昇幅である。介護福祉系は、介護福祉士養成課程という2年間を通じて幅広く深い学習を完了させていくため、学びの初期にはその専門性や全体像の理解などが及ばず、その一方、積みあげた学習の高い成果が、2年次終了時に反映されることにつ

ながっているのではないかと思われる。同様に、ビジネス情報・金融系の「プログラミング」についても1年次は2.5だが、2年次には3.4に上昇している。学びにより、高い学習成果を達成していると学習者が最終的に自己評価することは、好ましいと思われる反面、1年次の終了際に、ある程度の水準の理解がなされたと自己評価でき、学びの手ごたえや自信をもってもらえるよう、検討し授業構成を調整するなどの対応も求められるであろう。

こうした学習成果については、量的・質的データに基づき評価し、印刷物で公表しつつ、改善対応を進めている。具体的には、令和元年度入学者より、学科における学習成果の自己評価には、内容を精査した改訂版アンケートを、2年間で2回ではなく、半期ごとにとり、合計4回行うこととしている。

〈学習成果の自己評価 平成 30(2018)年度入学生を対象に実施した調査〉

		学年	N	L1	L2	L3	L4	L5	Av.	学年	N	L1	L2	L3	L4	L5	Av.
ヒューマン スキル	(1)	1	163	2	40	71	46	4	3.1	2	163	0	32	41	75	15	3.4
	(2)	1	163	0	33	52	11	11	3.3	2	163	0	17	37	86	23	3.7
	(3)	1	163	5	38	52	13	13	3.2	2	163	3	28	42	68	22	3.5
	(4)	1	163	19	47	39	10	10	2.9	2	163	22	29	40	51	21	3.1
[ビジネス情報・金融系]																	
ビジネス実務総論		1	46	0	2	21	17	6	3.6	2	24	0	0	10	8	6	3.8
情報環境論			0							2	15	2	2	5	4	2	3.1
プログラミング		1	10	1	3	3	3	0	2.5	2	10	1	1	3	3	2	3.4
データベース			0							2	19	1	2	9	5	2	3.3
[司書・公務員系]																	
図書館概論		1	14	0	1	8	5	0	3.3	2	10	0	0	5	4	1	3.6
情報資源組織演習		1	12	0	2	7	2	1	3.2	2	12	0	0	5	5	2	3.8
公務員試験Ⅰ・Ⅲ		1	24	0	7	11	6	0	3.0	2	15	0	2	4	6	3	3.7
公務員試験Ⅱ・Ⅳ		1	22	0	8	9	5	0	2.9	2	16	0	2	4	7	3	3.7
[医療事務系]																	
医学一般・疾病論		1	30	0	7	14	9	0	3.1								
医療事務演習ⅡⅢ										2	25	0	2	10	8	5	3.6
[ファッション系]																	
ファッションビジネスⅠⅡ		1	27	0	2	7	15	3	3.7	2	12	0	2	1	4	5	4.0
クリエイティブデザイン・ ステージショー演出		1	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	2	3	4.6
[カフェ・フード系]																	
食品学Ⅰ 食品衛生学Ⅰ		1	31	0	4	19	5	3	3.2								
カフェラウンジ		1	19	0	1	10	6	2	3.5	2	17	0	1	7	6	3	3.6
食環境コーディネート										2	29	0	0	10	14	5	3.8
[製菓系]																	
公衆衛生学ⅠⅡⅢ		1	18	1	2	7	8	0	3.2	2	17	0	1	7	6	3	3.6
製菓技術ⅠⅡ		1	16	0	1	7	8	0	3.4	2	10	0	0	2	5	3	4.1
[観光・ホスピタリティ系]																	
観光概論		1	20	2	7	9	2	0	2.6								
ブライダル実務										2	17	0	2	4	8	3	3.7
[スポーツ系]																	
健康管理		1	7	0	0	5	2	0	3.3	2	4	0	0	0	3	1	4.3
運動障害										2	10	0	0	3	3	4	4.1
[介護福祉系]																	
人間と社会		1	6	1	2	1	2	0	2.7	2	5	0	1	2	2	0	3.2
介護		1	6	1	3	2	0	0	2.2	2	5	0	0	3	2	0	3.4
こころとからだのしくみ		1	6	0	6	0	0	0	2.0	2	4	0	0	2	2	0	3.5
医療的ケア		1	6	0	5	1	0	0	2.2	2	4	0	0	1	3	0	3.8